

植田南中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年6月25日(火)

尾上 大河さん
【(株)佐伯コミュニケーションズ】

演題 はたらくたのしさ



営業、印刷物・WEB、動画、イベント等のディレクションをしている尾上さん。講演会では例題として、カップラーメンの商品開発をテーマにした生徒さんのグループワークを取り入れ、大きな盛り上がりを見せました。

生徒の皆さんに「仕事をするのが目的ではない」、「その先にいる人に喜んでもらうために仕事をする」と伝えました。「喜んでもらえる人になろう」ということが、最後の生徒さんの挨拶の言葉で伝わったと感じたそうです。

古田 武尊さん
【J：COM大分ケーブルテレコム(株)】

演題 営業の仕事をのぞいてみよう



お客様宅へ訪問し、営業をしている古田さん。講演会では、生徒たちにペアとなってもらい、ジェスチャーやお題を当てるなどの体験をしてもらい、契約をするためのアプローチにもつながる実践を行いました。

生徒の皆さんに「最悪の状況を想定すれば、いざその局面になったとき焦ることなく対処できる」と伝えました。クラスの雰囲気が良く話しやすい状況を作ってくれていたそうです。

吉野 愛己さん
【社会福祉法人 若草会 創生の里】

演題 訪問介護の仕事とは？



訪問介護ヘルパーとしてご自宅へ伺い、生活で困っているところをお手伝いしている吉野さん。母校での講演です。黒板に具体的なお仕事の絵を貼って説明をしました。

生徒の皆さんに「自分の心の声をちゃんと聞きましょう」、「自分と会話しましょう」と伝えました。これは仕事をしていくなかで吉野さんも大切にしていることです。話を真剣に聞いてくれたことが嬉しかったそうです。

植田南中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年6月25日(火)

平山 沙絵さん
【(株)大分放送 (OBS)】

演題 思いを言葉に～言葉のチカラ～



テレビ・ラジオニュースや番組出演、取材などを行っている平山さん。言葉を使わないジェスチャーでのペアワークや、正しい言葉やアクセントの学びを行いました。また、昨日読んだ実際の実稿も回覧しました。生徒の皆さんに「毒にもなる言葉は、良薬にしていこう」と伝えました。「話をする方も、言葉を浴びる方も、ポジティブな言葉を使ってほしい」という思いがありました。生徒たちは前のめりになって聞いてくれたそうです。

麻生 裕紀さん
【大分市消防局東消防署】

演題 消防の仕事とは
～学生時代を振り返って～



消防、救急、救助の仕事をしている消防士の麻生さん。中学生の頃の自分の話や消防士になるためにがんばったことを話し、訓練の様子をプロジェクターで説明しました。講演の最後では、実際に生徒さんが防火服、空気呼吸器などの着用体験を行いました。生徒の皆さんに「中学生時代は1回しかないのを今を後悔しないように一生懸命がんばってください」と伝えました。中学生にわかりやすく伝えることが難しかったそうです。

2年生5クラス。模造紙に生徒たちが書いた演題は、最後にアドバイザーにプレゼントされました。どのクラスもとても素敵な演題をイラスト付きの手書きで書いてくれていました。



滝尾中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年6月27日(木)

園田 雅さん
【(株)パナソニックグループ】

演題 私らしく「生きる・働く」大切さ



淡路島でイベント企画や運営をしている園田さん。大分市出身です。仕事をすることで段取り力、相手の気持ちを読み取る力、イベントの企画力が身についたお話をしました。

生徒の皆さんに「枠組みにとらわれず、今この時間を楽しむことがおもしろいこと」や「やりたい職業は変わってもいいこと」、「ひとりひとりが横の人を大切にしよう」と伝えました。生徒たちはノリよくお話を聞いてくれたそうです。

後庵 盛寿さん
【(株)三井E&S】

演題 日本と世界の貿易を支えるもの



港湾クレーンの電装設計をしている後庵さん。会社や仕事内容について、動画「ここ大分から世界へ」などを用いて分かりやすく説明しました。コンテナを運ぶクレーンの大きさなどをクイズで出し、その大きさに生徒たちも驚いていました。

生徒の皆さんに「この講演を将来を考えるきっかけにしてほしい」、「高校、大学などで職業が決まってくるので、早めに将来について考えた方がいい」と伝えました。明るい生徒たちだったそうです。

尾上 大河さん
【(株)佐伯コミュニケーションズ】

演題 はたらくたのしさ



営業、印刷物・WEB、動画、イベント等のディレクションをしている尾上さん。2校目の講演です。カップラーメンの商品開発の体験は成果発表で盛り上がりを見せました。

生徒の皆さんに「仕事の先に目的を持つ」、「なりたっだけじゃなく、なっってどうするのか」、「皆に喜んでもらえる目的を持とう」と話しました。夢や、やりたいことがある生徒さんが多くて驚いたそうです。

滝尾中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年6月27日(木)

佐藤 隼さん
【大分県信用組合】

演題 金融機関の仕事について



融資の相談、受付をしている佐藤さん。母校での講演です。金融機関の仕事をフリップで説明し、一千万円分の模擬紙幣を回覧すると、生徒たちはその重さを確認していました。生徒の皆さんに「いろんな仕事があることを知ってほしい」、「身近なところで両親の仕事を聞いてみてください」と話しました。主体的で積極的な生徒ばかりだったそうです。

森竹 皓平さん

演題 農業の魅力(農力)の発信について



全国で発想の転換をしてヒットした野菜や果物を紹介した森竹さん。普通の果物に付加価値をつけるには？どうしたら高く売れるか？アイデアを生徒たちに考えてもらいました。

生徒の皆さんに「諦めずに挑戦すれば考えたことが実際に叶う」と伝えました。意見が多く出た積極的な生徒たちで、楽しく講演ができたそうです。

河野 帆乃加さん
【大分エル・エヌ・ジー(株)】

演題 人生明るく前向きに



労務の事務をしている河野さん。クイズからスタート。「-19.6℃の液体窒素に薔薇やソフトテニスボールを入れるとどうなるのか？」という実験を生徒たちは興味深く間近で見ました。

生徒の皆さんに「楽しいから笑顔になるのではなく、笑顔でいるから楽しくなる」、「明るくいろんな人に話しかけてチャレンジし、後悔することのないように何事もやってみる」、「マナーもひとつずつ身につける」、「嫌なことも続けているとやっておいてよかったと思うことがほとんどです」と伝えました。生徒たちは明るく楽しく聞いてくれたそうです。

多くの業種に触れてほしいということで、アドバイザーがクラスを変えて2回の講演を行いました。

植田中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月4日(木)

後藤 悠斗さん
【大分ダイハツ販売(株)】



演題 “きっかけ”は日常の中に。

自動車整備士の後藤さん。自動車整備士の仕事を選んだきっかけを話しました。生徒たちはグループワークでメカグルマの工作を行い、どの班が一番最初に作り終わるか、班員同士でお互いに助け合いながら競争をしました。

生徒の皆さんに「誰でもいいので感謝される人になってほしい」、「感謝されることがやりがいにつながる」と伝えました。生徒たちの視線が熱く、こんな機会はなかなかないので楽しい講演だったそうです。控室までお見送りをした生徒が「楽しくて、いい思い出になりました」と後藤さんに伝えていました。

秀平 拓海さん
【大分三菱自動車販売(株)】



演題 整備士のやりがいとは

自動車整備士の秀平（ひでひら）さん。自己紹介や会社の紹介をクイズ形式で行いました。生徒たちはグループワークでメカグルマの工作を行い、どの班が一番最初に作り終わるか、班員同士でお互いに助け合いながら競争をしました。

生徒の皆さんに整備士のイメージを聞いた後、「生活に必要な車を整備して、長く乗り続けてほしい」、「学生の間だけでなく、大人になっても資格を取ったり勉強することは続くので、勉強することは大事です」と伝えました。生徒たちが話を熱心に聞いてくれ、質問もたくさん出してくれたので、楽しく講演できたそうです。

森竹 皓平さん



演題 農業の魅力(農力)の発信について

イチゴのベリーーツTシャツで講演を行った森竹さん。生徒たちは普通のイチゴに付加価値をつけるアイディアを出していく体験を行いました。最初のうちは農業にあまり興味がなかった生徒も、農業について考えたことで、農業に興味を持ち始めたそうです。

生徒の皆さんに「どんな商品にも物語が必ずあること」、「迷うからこそいろんな体験をし、少しでも興味があるなら挑戦してみることに」、「勉強も遊びも本気でやることの大切さ」を伝えました。クラスがこんなに盛り上がったのは初めてとだという講演になりました。

植田中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月4日(木)

工藤 聡太さん
【大分市消防局南消防署】

演題 目標や将来の夢はありますか？
消防士の1日の業務内容について



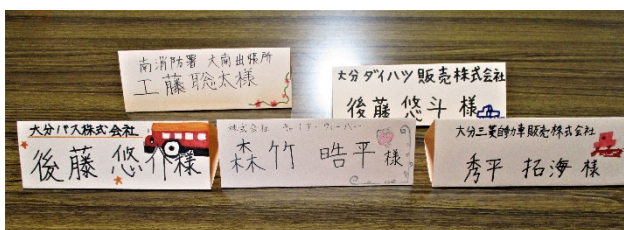
消防士の工藤さん。192cmの長身です。生徒たちのリクエストで生徒と手のひらを合わせて大きさ比べをしました。「消防士になるためにどうしたらいいか」や、「消防士になってからの現場の体験」などをクイズも交えながら話しました。最後は、防火服の着用体験を男子生徒5人が行いました。生徒の皆さんに「仕事はコミュニケーション能力も必要です」と話し、「興味があったら消防署に見学に来てください」と伝えました。生徒たちは楽しそうに講演を聞いてくれたそうです。

後藤 悠介さん
【大分バス(株)】

演題 バスの運転士になるためには



営業所で総務をしている後藤さん。母校での講演です。普段は運転士のサポートや事務の仕事をしていますが、「バスの運転士になるためにはどうしたらよいか」や、「運転士の1日の流れ」などを説明しました。また、運転士やバスガイドの帽子を生徒に回覧し、被ってもらいました。生徒の皆さんに「諦めなければ結果は必ずついてくる」、「諦めたら終わり」、「ミスをしてもしないよう考えることが大切です」と伝えました。元気のある生徒たちだったそうです。



2年生5クラス。生徒たちが手書きの名立てを作製してくれました。

神崎小中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月5日(金)

岡崎 直弥さん
【(株)三井E&S】

演題 港ではたらく巨大クレーンを作る



港湾クレーンの設計をしている岡崎さん。クイズを出しながら、会社の仕事内容やクレーンの役割などを説明しました。クレーンの高さ、重さ、値段を聞いて生徒たちは驚いていました。生徒の皆さんに「いろいろなものに興味を持ち、見たことのないもの、やったことがないものと出会ったときは大チャンス」、「人とのコミュニケーションで気づきや発見が生まれます」と話しました。また、「夢中になれること、そんな仕事を見つけたら、仕事が充実します」と伝えました。講演を行ったことが新鮮な経験だったそうです。生徒たちも熱心に耳を傾けていました。



8年生1クラス。高台にある神崎小中学校から三井E&Sの工場が見えます。

大分西中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月8日(月)

芝村 陣さん
【(株)豊後企画集団】



演題 後悔のない選択を

お客様のお部屋探しのお手伝いや不動産仲介をしている芝村さん。会社のCM動画を流すと、ほとんどの生徒が見たことがあると答え、予想よりも多かったと感じたそうです。大分を盛り上げる取り組みとして実現した「猫（ねこ）」（ペット）付き物件の紹介などをしました。生徒の皆さんに「後悔を少なくしてほしい」、「迷ったときは自分の気持ちを優先してほしい」、「皆さんの活躍を楽しみにしています」と伝えました。クラスが盛り上がり、非常に話しやすかったそうです。

平原 駿太郎さん
【J：COM大分ケーブルテレコム(株)】



演題 出会いの大切さ

代理店の営業をしている平原さん。生徒たちにお客様へ営業するための体験『ペンを売ってみよう』をグループワークで行ってもらい、生徒たちから様々なアイデアや意見が生まれました。生徒の皆さんに「人と話しながら売るのが営業の仕事であること」、「グループで話し合ったからこそ意見が出ること」、「仕事は人との繋がりが大切です」と話しました。また、「働くことは誰かに喜んでもらうこと」、「人との出会いを大切にしてほしい」と伝えました。アイデアの発表の内容などを聞いて、思ったよりも生徒たちは大人であると感じたそうです。

植木 大智さん
【(株)三井E&S】



演題 線を描いてモノをつくる仕事

港湾クレーンの設計をしている植木さん。大阪出身ということで、生徒たちに「大阪といえば？」という質問からスタートしました。また、『普段使っているイスや机の絵を描いてみよう』というテーマで、生徒たちに設計体験してもらいました。生徒たちに「自社は海外と取引があるので、英語はできた方がよい」と話しました。生徒たちから質問が次々出て、和やかな雰囲気質疑応答が行われました。生徒の皆さんに「やったことのないことをやってほしい」、「自分と他人の違いがわかり、知らなかったことを知ることができる」と伝えました。

大分西中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月8日(月)

尾上 大河さん
【(株)佐伯コミュニケーションズ】

演題 はたらくたのしさ



営業、印刷物・WEB、動画、イベント等のディレクションをしている尾上さん。3校目の講演です。カップラーメンの商品開発をテーマに、グループワークを行いました。生徒たちは、「カップラーメンはただ食べるだけのものではない」という考えのもと、いつ、どこで、どんな時に、なにをするかを考え、成果発表をしました。

生徒の皆さんに「印刷会社には企業、行政、学校、病院などいろいろな取引先があり、色々な人に出会えること」、「仕事の先に目的を持つことで、仕事が楽しくなくなったときでも他に楽しくなる方法を探せること」を伝えました。最後に代表で挨拶をした生徒から「将来、佐伯コミュニケーションズに入りたい、いろいろな業種の人と触れ合えるからです」という言葉がありました。クラスが盛り上がり、とても楽しい講演だったそうです。

2年生4クラス。どのクラスからも元気な声が聞こえてきました。この日に秋の修学旅行の行き先の発表があったそうです。



東陽中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月9日(火)

疋田 華さん
【大分県信用組合】



演題 銀行員の仕事について

金融機関の窓口業務をしている疋田さん。フリップを使って会社や金融の仕事について説明を行いました。一千万円の模擬紙幣を回覧しながら『一千万円あったら何が買える？』というテーマで生徒たちに考えてもらい、お金の価値について説明しました。「銀行員になるにはどうすればいいか？」という生徒からの質問には「中学校の勉強をしっかりとすれば銀行員になれます」と答えました。生徒の皆さんに「学生生活を楽しんで、勉強もしっかりすること」、「いろいろなことに興味を持ち、気になったことは実際にやってみることが大切です」と伝えました。おもしろい生徒が多く、生徒たちはみんな話を熱心に聞いてくれたそうです。

野田 哲平さん
【(株)熊野建設】



演題 3年目の現場監督の1日について

建築工事の現場監督をしている野田さん。「施工管理とは何か」、「主体的とは何なのか」、などを詳しく説明しました。『危険予知活動(KY)とは』というグループワークでは、作業する際に危険な箇所を、生徒たちに具体的に考えてもらいました。生徒たちは、奇数班と偶数班で異なるテーマのもと、話し合いながら、危険な作業箇所について意見を出し合いました。生徒の皆さんに「社会人になると報連相が大事です」と伝えました。とても元気のよいクラスだったそうです。

岡崎 直弥さん
【(株)三井E&S】



演題 港ではたらく巨大クレーンを作る

港湾クレーンの設計をしている岡崎さん。今回が2校目の講演です。クイズを出しながら会社の仕事やクレーンの役割などを説明しました。生徒たちは、クレーンの高さ、重さ、値段を聞いて驚いていました。生徒の皆さんに「仕事に必要なことは、課題を見つけて解決しようとする、仲間と協力してより大きな結果を出そうとすることです」と話しました。また、「夢中になれること、本当にやりたいことを見つけよう」と伝えました。最後まで、生徒たちの質問がなかなか止まりませんでした。

東陽中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月9日(火)

後藤 羅来さん
【社会医療法人敬和会
介護老人保健施設 大分豊寿苑】

演題 介護福祉士について



介護福祉士の後藤さん。国家資格を取得するためのルートを説明したり、「具体的に高齢者をどのように介護するのか」などを動画で紹介しました。「子どもの頃からお年寄りが好きだったことが仕事を選ぶきっかけとなったこと」や、「仕事のやりがいは、介護された方からの感謝の言葉です」と話しました。生徒の皆さんに「小中学生の頃に勉強をすると、将来、認知症になりにくくなること」、「作り笑いをするだけでも免疫力が上がる効果がある」と伝えました。最後の生徒からの挨拶では「しっかり勉強をして、将来認知症にならないようにしたい」という言葉がありました。

板井 清成さん
【社会福祉法人 太陽の家】

演題 福祉の仕事と人生において大切にしたいこと



障がいをお持ちの方の相談支援専門員をしている板井さん。福祉には、いろいろな仕事があることを説明しました。「福祉の仕事で大事なことは、しっかり相手の話を聞き、相手を受け入れ否定しないことです」と伝えました。生徒の皆さんに「中学生の今、して欲しいことは、挨拶、早寝早起き、勉強、部活、お手伝いなどたくさんありますが、一番は、ひとつひとつの出会いを大切にすること、そして人生を楽しんでほしい」というメッセージを送りました。元気のいい生徒たちだったそうです。

1年生5クラス。落ち着いて授業に入れるように、30秒黙想してから挨拶をし、授業に入るそうです。

佐賀関中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月10日(水)

玉垣 マリモさん
【一般社団法人 若葉会】

演題 人生を楽しむということ



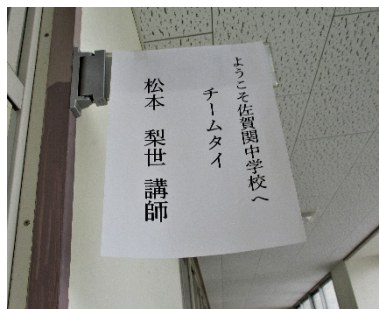
言語聴覚士の玉垣さん。「言語聴覚士がどういった機能回復訓練を行うのか」などを説明しました。また、生徒たちは、ものを飲み込む筋力があるかどうかを調べる反復嚥下テストの体験を行いました。
生徒の皆さんに「これから進路を選択していくなかで、何が好きか、何が嫌いかなど、自分を分析し、自分を知ることが大切です」と話しました。「夢を叶えるために必要なことは、知識とやる気です」と伝えました。優しくノリがよい生徒たちで楽しかったそうです。

松本 梨世さん
【大分市生石保育所】

演題 保育士の仕事ってどんなこと？



保育士の松本さん。「保育士とはどういうことをするのか」など、仕事の内容を話しました。1歳児から5歳児までが手作りをした飾りを見せながら、幼児が成長していく過程などを説明しました。
生徒の皆さんに「保育士になるために必要なことは、保育士の資格と子どもが好きという気持ちです」、「今回の講演をきっかけに保育士に興味を持ってもらえたらうれしい」と話しました。また「今を後悔しないように全力で生きることや、いろんなことを経験して考えたり、感じたり、悩んだりすることが大切です」と伝えました。あたたかい生徒たちでリラックスして楽しく講演できたそうです。



全学年が希望制で分かれて講演を聞きました。

碩田学園ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月11日(木)

堀田 健翔さん 【協栄工業(株)】



演題 天職を見つけるために

建設現場の水廻り関係設備の施工管理をしている堀田さん。仕事の内容や働く理由などを話しました。床の下などにある給水管。生徒たちは実際に配管をつなぐ、接着剤をつけてはめていく体験を行いました。生徒の皆さんに「しっかり遊ぶ」、「勉強をする癖をつけておく」、「やることリストを作る」、「何かに挑戦する」、「皆さんはまだ中学生です。将来のことを考えすぎず、今を楽しみましょう」と伝えました。生徒たちは配管をつなぐ体験を楽しそうにしてくれたそうです。

戸高 那奈美さん 【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】



演題 作業療法士って素晴らしい仕事

作業療法士の戸高さん。病院に入院している患者さんが、体の機能回復のリハビリによって日常生活に戻れるようお手伝いをしています。講演は、音楽に合わせて頭と体を動かすウォーミングアップからスタート。作業療法士の仕事を選ぶまでの過程などを説明しました。グループワークでは、『右半身が麻痺している高齢者の方がご飯をおいしく食べるにはどうしたらよいか?』というテーマで、生徒たちは話し合いを行いました。生徒の皆さんに「たくさん遊んで周りの人に相談し、悔いのないように今を楽しむこと」、「人生は一回きりなので、出来ないことは出来るように、出来ることはもっと出来るようになってほしい」と伝えました。生徒たちはやわらかい空気で話しやすかったそうです。

藤田 ひかるさん 【(株)テレビ大分】



演題 テレビの裏側、覗いてみませんか?

テレビ大分の広報をしている藤田さん。テレビ大分で放送する番組を決める編成などの仕事もしています。番組のタイムテーブルを配り、放送する番組を決めていく編成の仕事内容について説明をしました。また、番組のポスター作成や、SNS広報、イベントの広報、ロケ同行などの話も行いました。生徒の皆さんに「自分の好きを大切にしましょう」と伝えました。生徒たちはみんなノリがよく、フレンドリーであたたかく、楽しく講演できたそうです。

碩田学園ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月11日(木)

古田 武尊さん
【J:COM大分ケーブルテレコム(株)】

演題 営業の仕事のをぞいてみよう



お客様宅へ訪問し営業をしている古田さん。2校目の講演です。生徒たちは、質問に「YES」か「NO」だけで答えることで、何のお題かを当てる、二人組のペアワーク『お題は何か？YESかNOで答えましょう』を行い、盛り上がりました。営業の仕事内容や、どうやって契約してもらうのか、J:COMの主力商品などについて説明しました。『営業を体験してみましょう』では、契約をしてもらうためのアイデアを生徒たちが考え、「お客様がサービスを選んでくれたのであれば、それは全部正解です」と話しました。生徒の皆さんに「心配りが出来るようになったなど、営業をして自分が変化したこと」、「自信を持つことの大切さ」を伝えました。また「常に最悪の状況を想定すること、想定しておく自分のメンタル面の対策ができる」と話しました。



7年生4クラス。どのクラスも興味を持って楽しく講演を聞いていました。

大東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月12日(金)

藤本 健斗さん
【大分キャノン(株)】

演題 “夢への挑戦”そして今の仕事



カメラの生産をしている藤本さん。高品質の製品を作るための対策と不具合発生時の解析を行うといった仕事内容や、キャノンのカメラ紹介、部品から製品になるまでの工程説明を行いました。生徒の皆さんに「何を選ぶか、ではなく、自分が選んだ道をどう進むか」、「これから分かれ道の連続。自分の進んだ道で誰よりも一生懸命になり、夢を実現してください」と伝えました。

大橋 尚弥さん
【大分県警察大分東警察署】

演題 警察官になってよかったこと



地域の警察官をしている大橋さん。警察官の仕事の説明を行いました。耐刃防護衣の着用体験では、代表して着た生徒がその重さを確かめていました。手形や指紋の鑑識体験では、触った白い紙に黒い粉をつけると、手形や指紋が浮かびあがり、生徒たちは興味深く見ていました。生徒の皆さんに「がんばれば何でもできるし、警察官にもなれます」と伝えました。

安部 和斗さん
【社会福祉法人 清流共生会】

演題 介護の仕事とは



介護福祉士で高齢者介護をしている安部さん。自己紹介からスタート。パンフレットを配り介護の体験談を話し、国家資格である介護士の資格証を見せました。「分かちあい、共に生き、介護の質を追求しています」と話しました。生徒の皆さんに「今は職業についてイメージがわからないと思いますが、目の前のしなければいけないことに集中し、いろんな選択肢のある中で、介護士もひとつの選択肢にしてください」と伝えました。最後は安部さんの乗っているスポーツカーを生徒たちが見に行き、盛り上がりを見せました。

大東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月12日(金)

野田 哲平さん
【(株)熊野建設】

演題 3年目の現場監督の1日について



建築工事の現場監督をしている野田さん。母校での講演です。『施工管理とは何か』などを詳しく説明していただきました。身近にある熊野建設が施工した建築物や、野田さんが最初に担当した現場を紹介しました。グループワークでは『危険予知活動 (KY) とは』、具体的に生徒たちに危険な作業箇所について考えてもらいました。生徒の皆さんに「社会人として報連相が大事であり、責任感を持ち、発言には気をつけよう」と伝えました。母校での講演は懐かしかったです。

後庵 盛寿さん
【(株)三井E&S】

演題 日本と世界の貿易を支えるもの



港湾クレーンの電装設計をしている後庵さん。今回が2校目の講演です。会社や仕事内容について、動画「ここ大分から世界へ」などを用いて分かりやすく説明しました。コンテナを運ぶクレーンの大きさや、「航空輸送と海上輸送とどちらがたくさん運んでいるか？」などのクイズを出しながら話を進めていきました。生徒の皆さんに「この講演を将来を考えるきっかけにしてほしい」、「高校、大学、学部などで職業が決まってくるので早めに将来について考えた方がいい」と伝えました。

疋田 華さん
【大分県信用組合】

演題 銀行員の仕事について



金融機関の窓口業務をしている疋田さん。2校目の講演です。フリップを使って会社や金融機関の仕事について説明を行いました。一千万円の模擬紙幣を回覧しながら、『一千万円あったら何が買える？』というテーマで生徒たちに考えてもらい、お金の価値について説明しました。学生生活の経験を踏まえながら、生徒の皆さんに「仲間と協力することの大切さ」について話し、「学生生活を楽しみ勉強もしっかりすること」、「いろいろなことに興味を持って実際にやってみることが大切です」と伝えました。

大東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月12日(金)

山上 史熙さん
【第一印刷株】

演題 自分に合った仕事ってなんだろう



広告、デザインのプランニングやライターをしている山上さん。冒頭、生徒たちに今知っている仕事を書き出してもらうと、それぞれ10種類前後の仕事が出てきました。「仕事は約17,500種類あるので、知っている職業を増やしてもらうために講演をしています」と話しました。生徒たちに『雑誌の特集のタイトルを考えよう』というテーマで体験をしてもらうと、中学生の感性で活発な意見が出ました。生徒の皆さんに「夢ややりたいことがないことは恥ずかしいことではなく、自分の目で確かめて、最後は自分で決めよう」、「困ったら勇気を出して誰かに相談してみよう」と伝えました。

染矢 啓登さん
【株熊野建設】

演題 建設業の仕事について



建築工事の現場監督をしている染矢さん。母校での講演です。建設業についてや、現場での施工管理の一日の流れなどについて説明を行いました。現場は危ないので、普段から長袖長ズボンで作業しています。生徒の皆さんに「いろんなことに挑戦して、今出来ること、勉強や部活などがんばってください」と伝えました。生徒の皆さんが元気が良くて、講演がやりやすかったそうです。

岩尾 涼祐さん
【大分市中央消防署】

演題 消防の仕事とは



特殊災害消防隊の岩尾さん。消防士を目指したきっかけは、中学生のときに東日本大震災の映像を見て人を助ける仕事がかっこいいと思ったことだったそうです。消防の仕事について説明し、「人の命に関わる仕事に誇りを持っています」と話しました。生徒の皆さんに「たくさんのことに挑戦すると、たくさんの選択肢が出来るので、がんばってください」と伝えました。

大東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月12日(金)

工藤 聡太さん
【大分市南消防署】

演題 目標や将来の夢はありますか？
消防士の1日の業務内容について



消防士の工藤さん。控室から教室まで案内をする男子生徒を救助者にみたくて、おんぶをし、救助パフォーマンスをしながら教室へ入りました。消防士の一日の流れや、消防隊、救急隊、救助隊の説明などをしました。

生徒の皆さんに「勉強は大事で、周りから否定されても自分の夢を曲げずに後悔のないようにがんばってください」と伝えました。生徒の防火服着用体験も盛り上がりしました。



このほか、大分市保健所の保健師による講演もありました。
大東中学校は、2年生11クラス。今年度のヤングキャリアアドバイザー講演会で訪問する学校で、一番クラス数、生徒数の多い活気のあるマンモス校です。

戸次中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月16日(火)

堀田 健翔さん
【協栄工業(株)】



演題 天職を見つけるために

建設現場の水廻り関係設備の施工管理をしている堀田さん。2校目の講演です。仕事の内容や働く理由などを話しました。家の床下などにあるたくさんの給水管や排水管。生徒たちは実際に配管をつなぐ、接着剤をつけてはめていく体験を行いました。

生徒の皆さんに「しっかり遊ぶ」、「勉強をする癖をつけておく」、「やることリストを作る」、「何かに挑戦する」、「皆さんはまだ中学生です。将来のことを考えすぎず今を楽しみましょう」と伝えました。

菅 雄貴さん



演題 人とのご縁を楽しむ！

ライフプラン・コンサルタントの菅さん。この仕事に就くまでの経験とこれまでの歩みを話しました。「ライフ・プランコンサルタントって何してるの?」、「生命保険って何?」などを説明しました。

生徒の皆さんに「夢は100年後もみんなが安心して思いっきり人生を楽しんでいる大分になっていることです」と話しました。また、「今まで会ってきた人とのご縁を大切に、これから出会う人のご縁も楽しみましょう。僕もがんばります」と伝えました。生徒たちが集中して真剣に話を聞いてくれてうれしかったそうです。

山上 史熙さん
【第一印刷(株)】



演題 自分に合った仕事ってなんだろう

広告、デザインのプランニングやライターをしている山上さん。2校目の講演です。冒頭、生徒たちに今知っている仕事を書き出してもらうと、それぞれ10種類前後の仕事が出てきましたが、中には多くの仕事を書いた生徒がいました。「仕事は約17,500種類あるので、知っている職業を増やしてもらうために講演をしています」と話しました。

『雑誌の特集のタイトルを考えよう』というテーマで体験を行うと、生徒たちから活発な意見、中学生ならではの感性が光るアイディアが出ました。生徒の皆さんに「夢ややりたいことがないことは恥ずかしいことではない」、「自分の目で確かめて最後は自分で決めよう」、「困ったら勇気を出して誰かに相談してみよう」と伝えました。

戸次中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年7月16日(火)

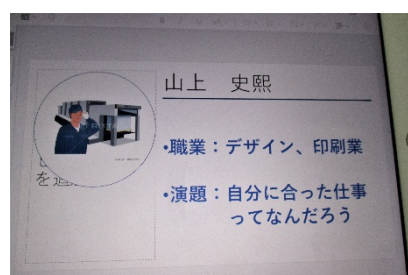
後庵 盛寿さん
【株三井E&S】

演題 日本と世界の貿易を支えるもの



港湾クレーンの電装設計をしている後庵さん。3校目の講演です。会社や仕事内容について、動画「ここ大分から世界へ」等を用いて分かりやすく説明しました。「会社が製品を作って売するためにはどんな部署・仕事があるだろう？」などを生徒に考えてもらいました。会社はコンテナを運ぶクレーンを作っているが、自動化クレーンと環境対応型クレーン（世界初の水素で動く）のふたつに力を入れていると話しました。

生徒の皆さんに「技術職なら理系、教師なら教職免許取得など、今のうちに道を決めていく」、「こういう大学にいてこうなりたいなど今のうちに考える。この講演がそのきっかけになればうれしいです」と伝えました。



2年生2クラスを4つに分けて希望制で講演を行いました。1年生のときに好きな仕事の職業新聞を作った生徒たち。2年生となりヤングキャリアアドバイザー講演会の事前学習を行い、働くことの意義などを身近なアドバイザーから聞いたあと、事後学習も行う予定で、意欲的に取り組んでいました。

植田西中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月4日(水)

藤武 治輝さん
【(株)オーイーシー】

演題 システムってどう作るの？ システムエンジニアの仕事とは？



システムの開発・運用をしているプログラマーの藤武さん。「ITとは？」「システムをなぜ使うのか？」「どうやってシステムを作り、実際どうしているのか？」など、具体例をあげて説明しました。

生徒たちはプログラミング体験ゲーム「アルゴリズム1」をそれぞれタブレットで体験！「システム開発に関わらず、仕事は誰かと協力しあって働きます。友達、先生など周りの人たちとのコミュニケーションを大事にしてください」と伝えました。元気のあるクラスでゲームのときもたくさん質問が出たそうです。

小出 翔五さん
【大分トヨタ自動車(株)】

演題 中学生の自分と今の自分



自動車整備士の小出さん。写真を使って会社や仕事内容の説明や整備士になるためにはどうすればよいか説明をしました。実際に使っている工具を生徒たちが興味深く楽しそうに触っていました。

生徒の皆さんに「車の性能が進み、自動運転などどんどん進化しているので勉強しないと追いつけない。知識をつけていってます」と話し、「いろんなことに興味を持って調べていると自ずとやりたいことが見えてくる。視野を広げてほしい」と伝えました。元気な生徒たちで楽しかったそうです。

麻生 裕紀さん
【大分市消防局東消防署】

演題 消防の仕事とは ～学生時代を振り返って～



消防、救急、救助の仕事をしている消防士の麻生さん。人の命、財産を守る消防士になるための道のりや仕事内容の説明をしました。中学生の頃の自分を振り返りながら生徒たちに大切なことを伝えました。

生徒の皆さんに「挨拶、礼儀は何歳になってもコミュニケーションの超基本」「今を後悔しないように一生懸命がんばらないといけない」「自分が選んだ道に後悔はしない」と伝えました。代表の生徒が火災時の装備を体験し、防火服やヘルメットの重さ確かめました。生徒たちは終始楽しそうに講演を聞いていました。

1年生3クラス。質問も積極的に出て、体験などでどのクラスからも元気な声が聞こえました。

城南中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月6日(金)

片原 由貴子さん
【(株)あすらん、一般社団法人あすらん】



演題 **なんで勉強せんといけんの？
～起業したからこそわかったこと～**

小学生から大学生までの学びのサポートの運営をしている片原さん。何で勉強をしなければならないのかを説明していききました。

「将来、今の職業がなくなるかもしれないし、新しい職業が生まれるかもしれない。今の勉強や知識は、何十年先にも役にたつ」と話し、「マヨネーズ瓶と2本のビール」の例を実際に生徒たちの前で再現し、「大切なものを優先してほしい。事実を見てプラスに捉えること。悩んでいても大人が助けてくれる、ひとりじゃない」と生徒たちに伝えました。

最後に、今日の講演を思い出してもらえるようにと手作りキーホルダーを生徒全員にプレゼント。キーホルダーをもらう順番は生徒たちが意見を出しあって決めました。

岩田 健太さん
【一般社団法人 若葉会】



演題 **中学生に伝えたいこと**

児童指導員の岩田さん。放課後等デイサービス、学童、フリースクール等の仕事内容を説明しました。

生徒の皆さんに「やりたいことがあればどういう道にいったらいいのか考えよう。これから人生の節目、高校、大学などがあるが、どうなりたいか、どんな学校に行くべきか、何の勉強をしなければいけないのか考えましょう」と伝えたほか、「社会人になって思ったことは、敬語などを使うため、中学時代にもっと国語の勉強や、文字をきれいに書く練習をしておくこと、また、趣味を多く持つことが大事」だと話しました。明るいクラスで、楽しく講演できたそうです。

荒金 隆耀さん
【大分信用金庫】



演題 **後悔しない決断をするために**

お客様に出向いて中小企業、個人を対象としたお金の相談業務をしている得意先係の荒金さん。母校での講演です。仕事内容等の説明をしました。生徒の皆さんに「後悔しない決断をするために親や友達の意見を大切にしてください。受験や部活などで困ったときに助けてくれます。進路を決めるうえで大切なことは、なりたい仕事内容を深掘りして、自分で調べたり、わからないことを聞くこと」だと伝えました。生徒たちは模擬紙幣で紙幣の数え方を体験し、難しそうにしながらも楽しく練習していました。

城南中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月6日(金)

伊藤 由華さん
【O.P.A薬局】

演題 渡す以外の薬剤師の仕事

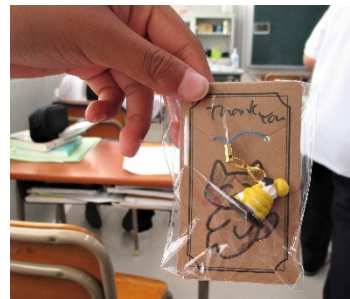
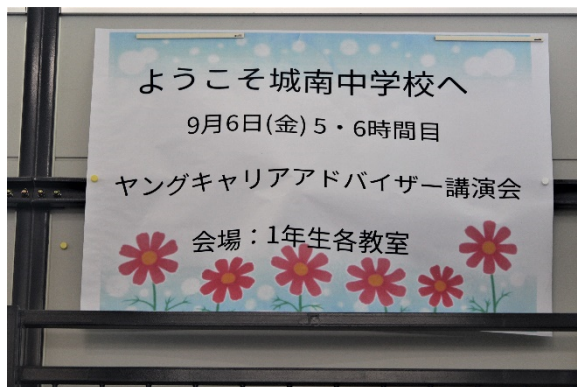


薬局で調剤や服薬指導をしている薬剤師の伊藤さん。薬剤師には、一般的なイメージである薬局で働くことだけでなく、製薬会社の研究員や学校薬剤師など、様々な職場でいろんな働き方があることを説明しました。

生徒たちに“カプセルの中身ってどんなの？”、“このお薬の1錠の値段は？”などのお薬クイズを出したり、薬の正しい飲み方などを話しました。

また、“うがい薬にビタミンCを入れるとどうなるか？”などの実験を実際にビーカーを使って行いました。

元気のよいクラスで、楽しく講演できたそうです。



1年生4クラス。校舎改修工事のため、2学期からプレハブ校舎に引っ越してきたばかりの教室での講演でした。城南中の敷地にいるダンゴ虫は普通よりも超大きいのだそうです。

野津原中学校 ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月12日(木)

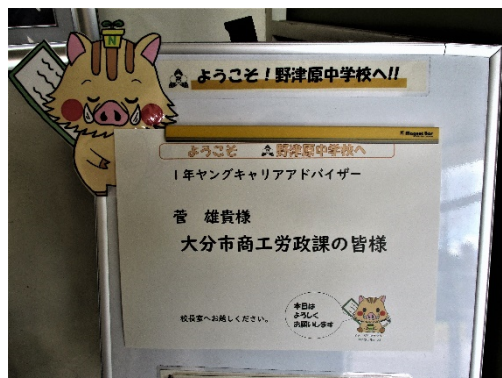
菅 雄貴さん

演題 人となご縁を楽しむ！



ライフプラン・コンサルタントの菅さん。この仕事に就くまでの経験とこれまでの歩みを失敗談も交えながら話しました。「ライフ・プランコンサルタントって何をしているの?」「生命保険って何?」などを説明しました。

生徒の皆さんに「夢は100年後もみんなが安心して思いっきり人生を楽しんでいる大分になっていること」だと話しました。「勉強、部活をしながら何になりたいか考えていく。やりたいことや夢は変わってもいい。生きる道を自分で作ってほしい。今まで会ってきた人となご縁を大切に、これから出会う人のご縁も楽しみましょう。クラスの間などのご縁も大切に、人生を楽しんでください」と伝えました。生徒たちは集中して講演に耳を傾けていました。



1年生1クラス。自主性のある生徒たちでした。マスコットの“いのっちゅう”が校舎内の至る所にあり、ヤングキャリアアドバイザーを出迎えてくれました。

植田東中学校はばたき分校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月13日(金)

神田 華奈さん
【(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス】

演題 パークプレイス大分の魅力をSNSを通して発信



パークプレイス大分のHPやSNS運用、イベント企画等の仕事をしている神田さん。パークプレイスとはどんなところか、どんなイベントをしているのかをわかりやすく説明しました。イベントやキャンペーンを告知するSNSについて紹介。InstagramやLINE登録者を増やすためにどういうことをしているのかを話しました。

生徒の皆さんに「自分の本当にやりたいこと、興味のあることを見極めましょう。学生のにしか出来ないことを全力でやって、勉強や部活など、青春を楽しんでください」と伝えました。質問コーナーでは生徒たちからたくさんの質問が出て、和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がりしました。

受講した生徒たちの中には、すでに自分の夢を持っている生徒もいました。

生徒たちからの質問も多岐にわたり、楽しい講演となりました。

城東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月27日(金)

橋本 愛さん 【医療法人社団 親和会】

演題 看護師という仕事について



入院患者の看護師をしている橋本さん。看護師の業務の説明をしました。生徒たちは聴診器を実際に耳にあて、自分やクラスメイトの肺の音を聞く体験をしました。また、採血を行う際のバンドを腕にしぼり、血管が浮き出てくる部分を見て触り、どこから採血しているのかに興味をもっていました。生徒の皆さんに「勉強の仕方を学生のうちに身につけて、困ったことがあったら周りに相談しましょう。わからないことは質問し解決しましょう。人間関係を大事にして、自分の得意なことに自信を持ってください」と伝えました。

牛木 亮太さん 【ENEOS(株)】

演題 ENEOSの仕事 ～あたり前の生活を支えるということ～



工場製油所の在庫管理をしている牛木さん。ガソリン、軽油など石油製品を作る工場で働いています。入社のかっかけや石油製品の精製方法、1日のスケジュールなどを説明しました。生徒の皆さんに「生活のなかに私達の製品が役に立っていることを実感できます。皆さんの生活を守るためにたくさんの方が仕事をしています。世界は誰かの仕事でできている。みんな誰かの役に立っています」と話しました。また、「目の前のことに全力で取り組みましょう。人とたくさん話したり触れ合う経験は無形の財産になります。勉強していて絶対に損はない、努力する練習になります」と伝えました。

後藤 悠介さん 【大分バス(株)】

演題 バスの運転士になるためには



営業所で総務をしている後藤さん。普段は運転士のサポートや事務の仕事をしています。が、「バスの運転士になるためにはどうしたらよいか、こういった免許が必要か」や、「運転士の1日の流れ」などを説明しました。また、運転士やバスガイドの帽子を生徒に回覧し、被ってもらいました。中学生の視点でおもしろい質問が次々と出ました。生徒の皆さんに「諦めなければ結果は必ずついてくる」、「諦めたら終わり」、「今から出来ることをコツコツとやりましょう」と伝えました。

城東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月27日(金)

平山 沙絵さん
【(株)大分放送】

演題 思いを言葉に ～言葉のチカラ～



テレビ・ラジオニュースや番組出演、取材編集、イベント司会などを行っているアナウンサーの平山さん。言葉を使わないジェスチャーでのペアワークからスタートし、アナウンサーの1日の流れや正しい言葉・アクセントの学びのほか、昨日読んだ実際の原稿も紹介しました。生徒の皆さんに「言葉は一生使っていきます。言葉に出したり、思い浮かべることができると、言ったことが実現していきます。ポジティブな言葉を使うとポジティブな出来事が、ネガティブな言葉を使うとネガティブな出来事がおきたりします。相手がこれを言われたらどう思うか？を考えながら話しましょう」と伝えました。

染矢 啓登さん
【(株)熊野建設】

演題 建設業の仕事について



建築工事の現場監督をしている染矢さん。建設業についてや、現場での施工管理の1日の流れ、設計から建物が出来るまでを、コンクリート打設前やコンクリート打設完了などの写真を使いながら説明を行いました。また、建物を作るために29種類の職種が携わっていることを話したほか、大分市の発注工事の図面が書かれた設計図書を回覧しました。生徒の皆さんに「いろんなことに挑戦して、今出来ること、勉強や部活などががんばってください」と伝えました。

南 雄大さん
【大分市商工労政課】

演題 公務員とサラリーマン両方経験した今、私が伝えたいこと



計量器の検査や事務作業をしている南さん。民間企業の経験と、公務員とはどういう職業か、クイズを出しながら説明しました。生徒の皆さんに「自分のやりたいことが出来るように選択肢が増えるように、勉強をがんばりましょう。夢の実現に向けてがんばれば、叶わなくてもがんばった経験のなかでやりたいことが見つかっていきます。あなたと仕事をしたいと思わせる能力、話をよく聞いて理解する姿勢、自分から提案する姿勢を楽しみましょう。中学の友達が一生の友達になるかもしれないので大切にしましょう」と伝えました。

1年生6クラス。希望制で2回の講演を行いました。生徒たちは全員第1希望の講師の講演を聴くことができ、ふたりの講演を聴くことでふたつの業種を学ぶことができました。